



# 友愛の森(二中だより)



## 学校教育目標

二中文化を創造する生徒

学びが深まる授業の創造・認め合える学級の創造・共に高め合う学校の創造

令和6年7月17日発行

## 「日本一通いたいと思える学校を目指して」

校長 齋藤 治

7月1日より富士宮第二中学校の校長として着任いたしました齋藤治（さいとうおさむ）と申します。以前二中には、平成17年度から20年度までの4年間勤務し、保護者や地域の皆様には大変お世話になりました。今回、16年ぶりに帰ってきました。当時、他校へ転勤することが決まったとき、「もう少し二中にいたかった」という思いを抱いたことを今でも覚えています。



前任の望月俊伸校長先生をはじめ、歴代の校長先生方が築いてこられたものをしっかりと引き継ぎ、歴史と伝統に輝く富士宮第二中学校のさらなる発展をめざして、よりよい学校づくりに誠心誠意努めてまいります。

また、生徒たち一人一人が夢と希望をもって、どんなことにも明るく楽しく前向きに挑戦でき、そして、今まで以上に、保護者の皆様、地域の皆様から愛される二中になるように、これからも職員一同、力を合わせて頑張っていきます。どうぞよろしく願いいたします。

7月の朝礼では、次のような話をしました。

二中の学校教育目標は、「**二中文化を創造する生徒**」です。

この目標には、いろいろな意味や思いが込められているはずです。その1つとして、「生徒主体の学校づくりを進めながら、自分も仲間も幸せになる二中を創っていこう」という意味が込められていると感じました。

そこで、皆さんに1つお願いがあります。

それは、**どんなことにも明るく楽しく前向きに「挑戦」してほしい**ということです。そして、自分の可能性をたくさん見付け出してほしいと思います。

「ひとつのことをできるまで粘り強く挑戦する」「たくさんの方に挑戦する」など、挑戦することで、昨日の自分よりも、もっともっと素敵な人になってほしいと思います。

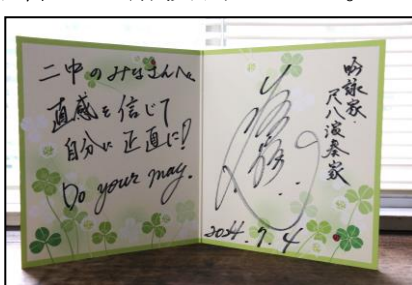
**私は、皆さんと一緒に、日本一通いたいと思える学校を創っていきたい**と思っています。皆さんの挑戦をいっぱい集めて、大きな挑戦、大きな力にして、日本一通いたいと思える学校を創っていきましょう。

早いもので、学校では1学期のまとめの時期となりました。生徒たち一人一人の成長を確認し、夏休みの目標を設定していきます。御家庭におかれましても、お子様と一緒に1学期を振り返り、夏休みの計画的な過ごし方について話し合ってくださいと思います。

## 「直感を信じること、素直に、継続は力なり」講師 前田健志先生

7月4日に「卒業生1日先生の日」講演会を行いました。今年度の講師は吟詠家、尺八演奏家である前田健志先生をお迎えしました。前田先生は、3歳から詩吟を始め、現在では、世界中で行われているイベントに参加されご活躍されています。講演では、中学校時代のエピソードや、高校進学に対してどのように考えていったのかなど、中学生にとっても参考になるお話をたくさんしてくださいました。

お話の中では、生徒が国語の授業で作った和歌を吟じていただき、詩吟の素晴らしさを間近で感じることもできました。終了後の生徒の感想では、「先生の留学の話を聞いて、私も留学を目指そうと思います」「将来、何になりたいかは決まっていますが、今できることを一生懸命継続していきたいです。」など、生徒の心に強く響いた講演会でした。



## 7月11日「富士山学習講座」を開催しました。

生徒それぞれが課題を設定し、追究を進めていく「富士山学習」の質を高めるため、たくさんの講師の先生をお招きして「富士山学習講座」を開催しました。講座では、「中学生ができる発信活動についてどのようにしていけばよいか」や「市の医療体制や救急医療センターについて」、「公共施設の老朽化対策について」など、幅広くお話をいただくことができました。



## 中体連・中文連 3年生にとって最後の大会

6月下旬から中体連大会が続いています。3年生にとっては最後の大会です。3年生の皆さん、3年間の努力の成果は発揮できましたか？勝てたうれしさ、負けた悔しさ、そこで得た経験を大切にしてこれからの中学校生活を充実したものにしてほしいと思います。県大会での活躍を期待します。

## 地区の総合防災訓練では積極的に行動しましょう。

2学期に入ると、すぐに総合防災訓練があります。先日の避難訓練では「中学生の力が大きい」ことをお伝えしました。訓練をしっかりと行うことで、いざ！という時に落ちついて行動できるようにしましょう。